

心理臨床と地球の未来

31世紀のこころを占う

こころと創造性 たましいのえがきかた

この地球は、空間的にはすでに新たに発見される未開の地などほとんどなく、地球の行き止まり状態を呈しつつ、また同時に、時間的には、原発の放射能汚染に象徴されるように、ひとりの人間の生きる時間の持つタイムスパンをはるかに超える時間感覚を自覚させる場となっています。

いま、ここにあるそれぞれの暮らしの延長に私たちの未来があるのだとすると、できるかぎり長い時間展望のなかに今を位置づけること、それが現在を生きる私たちの責務といってもよいのではないのでしょうか。

昨年度に引き続き、本年度も本学客員教授鏡リュウジ氏とゆかりのある方々とともに、3回にわたって、この地球の未来にかかわる諸問題を語りあい、そこに臨床心理学の課題と可能性を同時に探ることができないか、というシンポジウムを企画しました。

本年度は、物語や漫画を通じて新たな世界の創造に与する3人の女性にお越しいただき、女と男がともに幸せに生きる世界を創造することはほんとうに可能か、千年後に向けての展望を開いてみたいと思います。

7月6日(日)
15:00-17:00

第1回 たましいの残酷さと優しさ

ゲスト **西加奈子** 小説家

会場：キャンパスプラザ京都 第4講義室

代表作、『さくら』、『きいろいソウ』『舞台』など多数。2013年『ふくわらい』で第1回河合隼雄物語賞受賞。



7月13日(日)
15:00-17:00

第2回 たましいの創造性

ゲスト **萩尾望都** 漫画家

会場：キャンパスプラザ京都 第3講義室

代表作、『ポーの一族』『11人いる!』『残酷な神が支配する』など多数。数々の漫画賞を受賞。2012年紫綬褒章。



7月20日(日)
15:00-17:00

第3回 たましいの多層性

ゲスト **角田光代** 小説家

会場：キャンパスプラザ京都 第3講義室

代表作、直木賞受賞作『対岸の彼女』、『八日目の蝉』、第2回河合隼雄物語賞受賞作『私のなかの彼女』など多数。



©三原久明

**来聴無料
申込不要**

開場は開演15分前より

ただし、ご用意できる座席数に限りがございますので、あらかじめご了承ください。

シンポジスト・コーディネーター

鏡リュウジ

(心理占術研究者・京都文教大学 客員教授)



濱野清志

(京都文教大学臨床心理学部 教授)



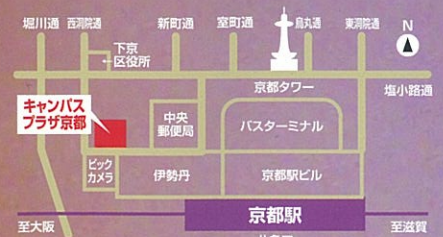
京都文教大学

〒611-0041 京都府宇治市槇島町千足80番地

お問い合わせ / TEL: 0774-25-2487

(京都文教大学臨床心理学部事務室) メール: gas@po.kbu.ac.jp

(件名に「臨床心理学科主催シンポジウムの件」とお書きください)



キャンパスプラザ京都へのアクセス

- ビックカメラ前、JR京都駅ビル駐車場西側
- お越しの際には、公共交通機関をご利用ください。